

| 基本情報 | | | | | | |
|--------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 教科・科目 | | 中3 公民 | | ・授業で使用するもの 授業プリント ロイロノートでスライド配信 ＊教科書は原則使用しない。家庭学習で使用する | | |
| 担当者 | | 宮地 若葉 | | | | |
| 評価割合（試験：試験外） | | 試験：5 試験外：5 課題の解決を構想・考察・説明・議論することができる。 | | ・定期テスト：年間5回（100点満点） ・試験外 ・プレゼンテーション ・提出課題 ・小テスト | | |
| 年間を通じて教科で培う力 | | 鍛錬（知識及び技能） | | より良い社会を目指すために必要な公民的知識や方法を理解することができる力 | | |
| | | 理知（思考力・判断力・表現力等） | | 得た知識を使って、事象を組み合わせたり、比較したりすることで論理的に説明することができる力 | | |
| | | 探究・叡智（主体的に学習に取り組む態度） | | 現代の諸課題について、知識・論理を用いて自らより良い社会のあり方を提言することができる力 | | |
| 学習情報 | | | | | | |
| 月 | 回 | 単元（学習）目標 | 単元目的（到達状態） | 学習内容 | 活動内容 | 評価方法・ポイント |
| 4 | | 現代国家と法・人権の原理 | 社会の成立と国家の役割について基礎的に理解するとともに、法の機能や分類を通して、社会秩序の維持と利害調整の仕組みを考察する。これらを踏まえ、政治と法がどのように社会を形成し、支えているのかを多面的に捉える力を養う。 | ・政治と法の機能 ・社会、国家、国家の役割、法の分類 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 5 | | 社会契約説と法の支配の原理 | 社会契約説の考え方を通して国家の正当性の根拠を理解するとともに、法の支配の原理について考察する。これらを踏まえ、権力のあり方やその制限の必要性を多面的に捉え、近代国家における政治と法の基本原理を理解する力を養う。 | ・社会契約説と法の支配 ・社会契約説についての思想家ロールプレイ 「国家の権力はどこまで許されるか？」 | ・講義(インプット) ・ディスカッション →思想家についてのロールプレイ ・小テスト ・プレゼンテーション | ・小テスト ・プレゼンテーション ・プレゼンテーションの振り返りレポート |
| 6 | 定期試験① 令和8年 6月3日－6月5日） 授業時数：12時間 | | | | | |
| 6 | | 人権保障の発展と国際的保障 | 近代以降における人権保障の拡大過程を理解するとともに、人権が国内にとどまらず国際社会において保障されるようになった背景と意義を考察する。 | ・人権保障の広がり、人権の国際的保障 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 7 | | 国際的人権保障と現代の政治体制 | 世界人権宣言や国際人権規約の内容と意義を理解し、人権保障が国際的枠組みの中でどのように制度化されてきたのかを考察する。さらに、議会制民主主義を中心とした各国の政治体制を比較・検討し、現代国家における政治参加と統治のあり方について多面的に捉える力を養う。 | ・世界人権宣言・国際人権規約など ・議会制民主主義と世界政治体制 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 7 | 定期試験② 令和8年 7月15日－7月17日 範囲） 授業時数：11時間 | | | | | |
| 9 | | 日本国憲法の成立と基本原理 | 大日本帝国憲法の成立と特徴を理解し、日本国憲法への転換の歴史的背景を考察する。さらに、日本国憲法の三大原理（国民主権・基本的人権の尊重・平和主義）について理解を深め、憲法の理念と現実との関係を多面的に捉える力を養う。 | ・大日本帝国憲法の成立 ・日本国憲法の基本原理 ・基本的人権の尊重 ・平和主義と自衛隊 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 10 | | 基本的人権の体系と新しい人権 | 基本的人権の保障の意義と体系について理解し、自由権・社会権の内容とその役割を具体的に把握する。さらに、現代社会の変化に伴って主張される新しい人権について考察し、人権の拡張とその課題を多面的に捉える力を養う。 | ・基本的人権の保障と新しい人権 →新しい人権についての討論 ・自由権 ・社会権 ・新しい人権 | ・講義(インプット) ・ディスカッション →新しい人権についての討論実践 ・小テスト | ・小テスト ・プレゼンテーション ・プレゼンテーションの振り返りレポート |
| 10 | 定期試験③ 令和8年 10月21日－10月23日 範囲） 授業時数：10時間 | | | | | |
| 11 | | 国会の仕組みと立法過程 | 国会の組織と役割について理解するとともに、法律がどのような手続きで制定されるのかを具体的に把握する。 | ・国会の組織と立法 ・模擬国会と立法の体験 | ・講義(インプット) ・ディスカッション →模擬国会と立法 ・小テスト | ・小テスト ・プレゼンテーション ・プレゼンテーションの振り返りレポート |
| 12 | | 内閣の機構と行政の役割 | 内閣の組織と権限について理解するとともに、行政の役割や機能を具体的に把握する。議院内閣制の仕組みや行政権の働きを考察し、政治における意思決定と実施の過程を多面的に捉える力を養う。 | ・内閣の機構と行政 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 12 | 定期試験④ 令和8年 12月9日－12月11日 範囲） 授業時数：11時間 | | | | | |
| 1 | | 裁判所の機能と司法制度 | 裁判所の役割と構成、司法制度の仕組みについて理解する。司法権の独立や違憲審査制の意義を考察し、法の支配を支える仕組みを多面的に捉える力を養う。 | ・裁判所の機能と司法制度 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 2 | | 政党政治と選挙制度 | 政党の役割と機能について理解するとともに、選挙制度の仕組みとその特徴を具体的に把握する。民意の集約や政治参加のあり方を考察し、現代の政治課題と可能性を多面的に捉える力を養う。 | ・政党政治と選挙制度 | ・講義(インプット) ・ディスカッション ・小テスト | ・小テスト |
| 3 | 定期試験⑤ 令和9年 3月4日－3月6日 範囲） 授業時数：11時間 | | | | | |